

つながりサポート事業【北海道白老町】

個別事業費	4,593 千円
交付金額	3,443 千円

地域の実情と課題

- ・少子高齢化社会の進展により、福祉や保育、育児分野の施策を重点化してきたため、不安や悩みを抱える女性に対する支援が手薄となっていた。
- ・さらにコロナ禍による自粛生活により、孤立状態となっていることから気軽に相談できる体制づくりや居場所づくりが求められる。

目的・目標

- 不安や悩みを抱える女性が気楽に相談できる居場所や相談体制など、相談しやすい環境づくりや周知を図り、女性が再度輝きを取り戻せる環境を整える。
- ・相談できる居場所の提供(週2回)、
- ・移動サロンの実施(うち月2回)
- ・相談件数90件

事業の特徴

- 様々な困難・課題を抱える女性に対する支援に取り組む意欲のあるNPO法人ウテカンパへ委託し次の事業を実施。
- ①困難・課題を抱える女性が気軽に相談できる居場所の提供
 - ②webやSNSでの相談体制の充実
 - ③町内各地区での移動サロンの実施
 - ④行政機関、学校、民生委員、社会福祉協議会、町内会等関係機関との連携による相談窓口の周知、情報交換、町内実態把握
 - ⑤上記機関との連携による生理用品の提供
 - ⑥地域コミュニティキーパーソンの養成講座の実施

連携団体

- ・白老町(生活環境課、健康福祉課、子育て支援課、学校教育課)
- ・学校(町立小中学校、道立高校)
- ・白老町社会福祉協議会
- ・町内企業
- ・民生委員
- ・放課後デイmamaしらおい
- ・NPO法人お助けネット

事業の効果

- ・不安や悩みを抱え、寄り添った支援を必要とする女性に対し、気軽に相談できる居場所の提供を町内各地区において提供することができた。
- ・また、参加者による支援の輪が広がり、誰も取り残さない隅々まで手の届く支援体制が強化された。

※数値目標:相談件数90件⇒実績件数90件

今後の課題

- ・相談できる居場所づくりを各地区で開催しているが、それでも会場に行く足が無いという声もあり、より参加しやすい環境づくりを整える必要がある。
- ・困難女性支援法の施行など、これまで以上に社会全体で女性が活躍できる体制づくりが必要であるが、本交付金制度がなくなった場合の財源確保が困難であり、事業継続が難しくなる。

事業の概要

白老町

業務委託

NPO法人ウテカンパ

行政機関、学校、社会福祉協議会、町内企業、民生委員等関係機関との連携による相談窓口の周知、情報交換、町内実態把握

SNS、新聞折込、広報による周知

困難・課題を抱える女性が気軽に相談できる居場所の提供
(各種講座、移動サロン)

webやSNSでの相談体制の充実

学校等との連携による生理用品の提供

地域コミュニティキーパーソンの養成講座の実施